

伊能忠敬の業績と東京地学協会

平成25年10月26日

星埜由尚

第282回地学クラブ講演会

目次

- 伊能忠敬の生涯
 - 伊能忠敬の全国測量
 - 様々な伊能図
 - その後の伊能図
 - 伊能忠敬の顕彰
-

誕生から伊能家へ婿入りまで

- 1745 上総国山武郡小関村小関(神保)貞恒の次男として誕生
 - 1751 母と死別(12月) 父貞恒は離縁
 - 1755 父の実家小堤村の神保家に引き取られる
 - 1762 佐原村伊能家の跡取り娘ミ子の婿養子となる
-

伊能忠敬旧宅(千葉県香取市佐原)



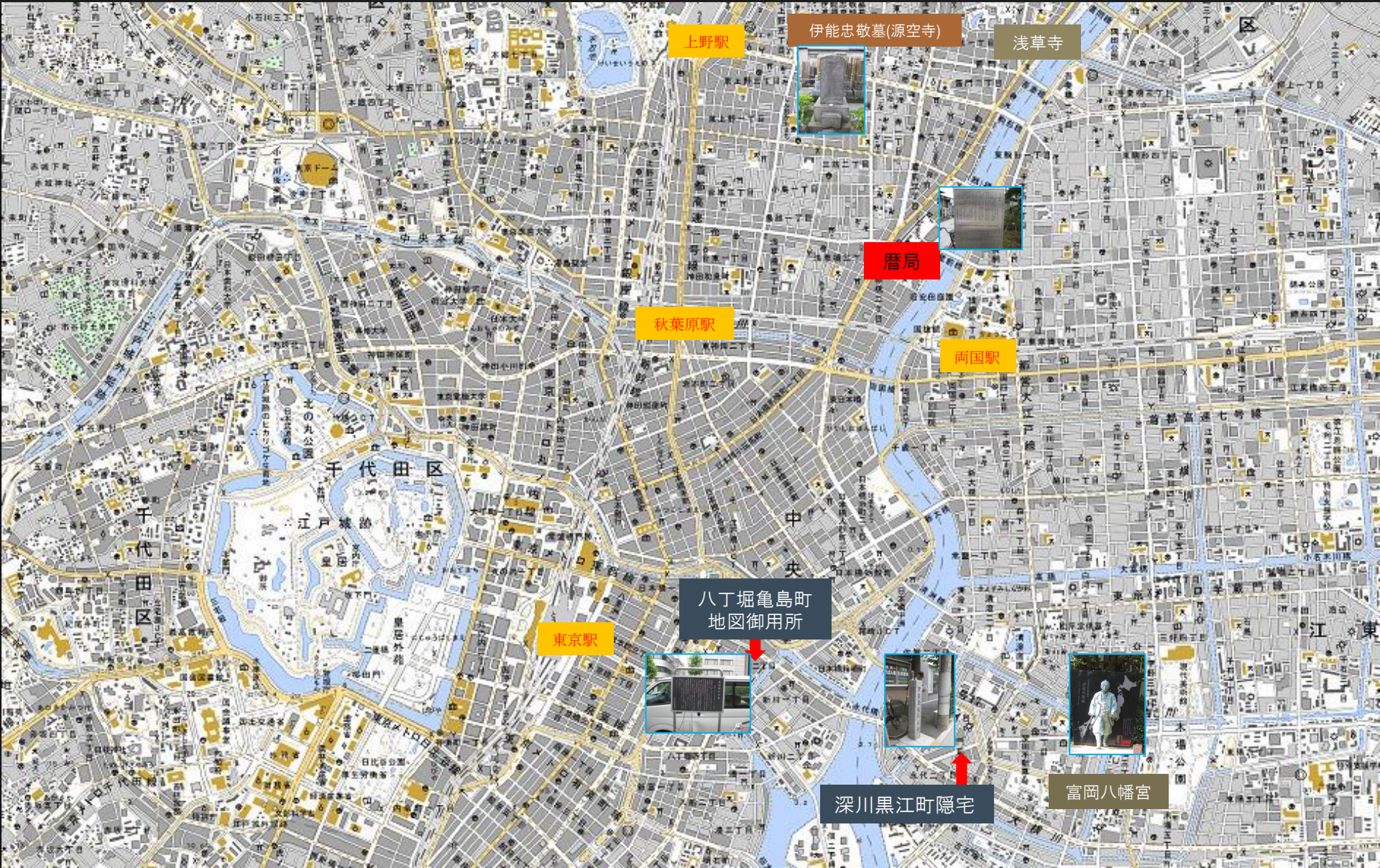
佐原の有力者として

- 1781 佐原村本宿組名主となる
- 1783 天明の大飢饉の始まり 堤防修築に奔走
領主津田氏から苗字帯刀を許される ミチ死去
- 1784 村方後見となる
- 1786 大凶作 窮民を助ける 二男秀蔵生まれる
- 1790 仙台藩医桑原隆朝の長女ノブを継室に迎える
- 1791 家訓を書く

隠居と江戸出府

- 1794 家督を長男景敬に譲り隠居する
勘解由と名を改める
 - 1795 妻ノブ死去 江戸へ出て深川黒江町に住む
高橋至時の門に入る
 - 1798 エイを内縁の妻とする
-

江戸の伊能忠敬



上野駅

伊能忠敬墓(源空寺)

浅草寺

厩局

秋葉原駅

両国駅

八丁堀亀島町
地租御用所

東京駅

深川黒江町隠宅

富岡八幡宮



藏

浅草

新宿

渋谷

高輪

大図90号江戸（国会図書館蔵）

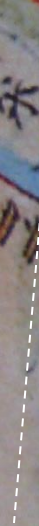
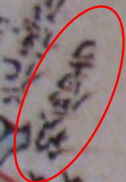


旧宅跡



地図御用所

大図90号江戸
(国会図書館蔵)



日本堤



頌曆所

伊能忠敬の全国測量

- 子午線1度の長さを知ることが動機
- 1800～1816年の長期事業
- 前半(第1～第4次)は幕府の補助事業、後半(第5～第10次)は幕府の直轄事業
- 蝦夷地は間宮林蔵の測量成果
- 伊能忠敬没後に地図は完成

測量の動機

- 子午線1度の長さ
＝地球の形
- 28.2里
- ラランデ暦書

全国測量と地図作成

- 1800～1803 第1次～第4次測量(東日本測量)
- 1802 子午線1度の長さを算出
- 1804 日本東半部沿海地図を幕府に提出 幕臣
となる
西日本測量を命じられる 高橋至時死去
- 1805～1814 第5次～第8次測量
- 1814 八丁堀亀島町に転居(地図御用所)

■ 1815 第9次測量(忠敬は不参加)

■ 1815～1816 第10次江戸府内測量

「大日本沿海輿地全図」の作成

■ 1818 亀島町の自宅で死去 遺言により浅草源空寺の
高橋至時の墓側に埋葬

■ 1821 「大日本沿海輿地全図」が完成し、
「大日本沿海実測録」とともに幕府に提出

伊能測量の足跡

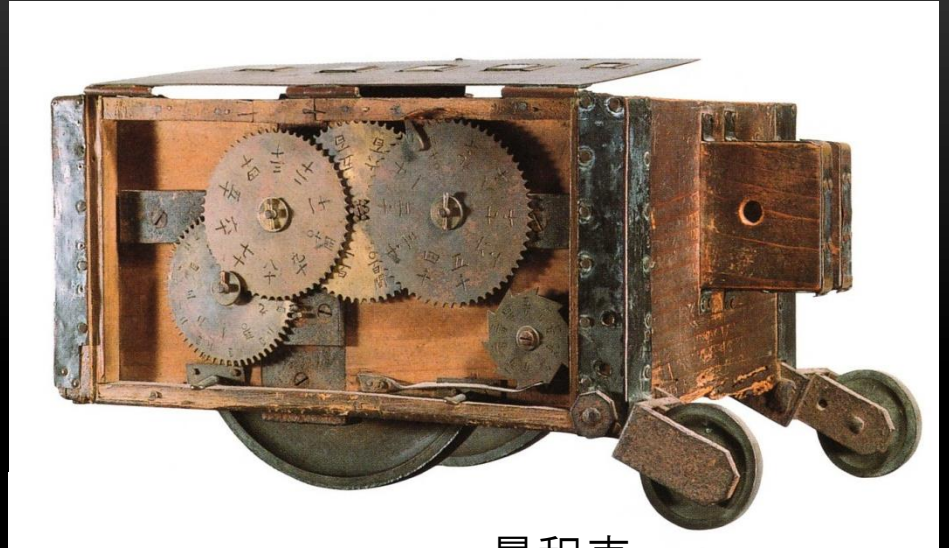
第一次	寛政12年(1800)閏4月～10月	奥州街道・蝦夷
第二次	享和元年(1801)4月～12月	伊豆・陸奥東海岸・奥州
第三次	享和2年(1802)6月～10月	出羽・越後
第四次	享和3年(1803)2月～10月	駿河・尾張・北陸・佐渡
第五次	文化2年(1805)2月～3年11月	東海道・近畿・山陽・瀬戸内・ 山陰
第六次	文化5年(1808)1月～6年1月	淡路・四国・大和・伊勢
第七次	文化6年(1809)8月～8年5月	中山道・中国・九州・甲州街道
第八次	文化8年(1811)11月～11年5月	九州・中国・近畿・中部
第九次	文化12年(1815)4月～13年4月	伊豆・相模・武蔵・伊豆七島
第十次	文化12年(1815)2月～13年10月	江戸(予備調査を含む)

伊能測量隊の態勢

	測量作業担当	従僕等	人足	馬
第一次	弟子3	2	3	2
第二次	弟子4	1	2	1
第三次	弟子4	2	5	3
第四次	弟子5	2	5	3
第五次	弟子8 下役4	6	7	6
第六次	弟子3 下役4 竿取2	6	7	7
第七次	弟子3 下役4 竿取2	8	8	7
第八次	弟子4 下役4 竿取2	9	5	7
第九次	弟子2 下役3 竿取1	5	?	?



半円方位盤



量程車



小象限儀



彎窠羅鍼





垂搖球儀



中象限儀

伊能測量の特徴

- 当時の一般的測量術(廻り検地)
 - 天文測量の導入
 - 測量機器の改良
 - 誤差低減に腐心
 - 地球上の位置(経緯度の観測)
 - 大陸との結合(朝鮮半島の山を測る)
-



海州府

咸興府

平壤府

元山府

咸興府

咸興府

咸興府

伊能中圖

日本写真印刷株式会社所蔵

蝦夷地図(伊能大図)



第一次測量成果(1800)



最終成果(1821)

様々な伊能図

伊能図の種類と所在

- 大図(1/36,000) 、中図(1/216,000) 、小図1/432,000)
- 正本(大日本沿海輿地全図)と伊能家控図は焼失
- 副本（伊能測量隊が作成）
- 東京国立博物館の中図、小図(重文)
- フランス中図、イギリス小図、アメリカ大図
- 測量途次の作成図(日本東半部沿海地図大図－国宝)
- 九州沿海図(重要文化財)
- 明治期の模写本

陸軍→アメリカ議会図書館・歴史民俗博物館（アメリカ大図）
海軍→海上保安庁海洋情報部（海保大図）
内務省→気象庁→国立国会図書館（国会大図）

伊能小図

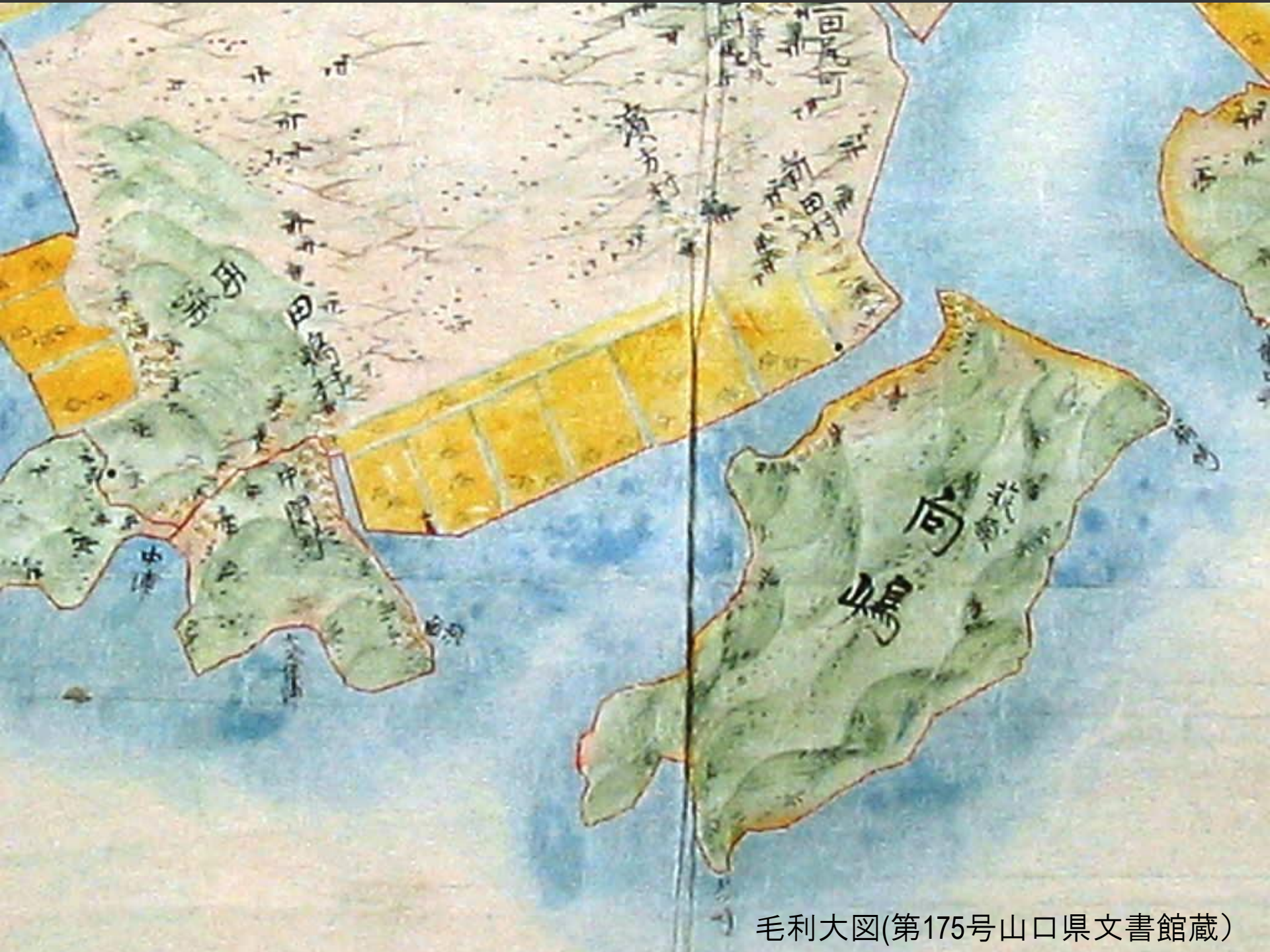
- 東京国立博物館蔵
- イギリス・グリニッジ海事博物館蔵

伊能中図

- ヴェル氏旧蔵、日本写真印刷株式会社現蔵
フランスで発見
- 東京国立博物館蔵(重要文化財) 三河吉田大河
内松平家旧蔵
- 成田山仏教図書館蔵(佐倉堀田家伝来?)

伊能大図

- 毛利大図(山口県文書館蔵)
- 松浦大図(松浦史料博物館蔵)
- 九州沿海図(東京国立博物館蔵・重要文化財)
- 明治期の模写
 - アメリカ議会図書館蔵(陸軍模写)
 - 国立国会図書館蔵(内務省模写)
 - 海上保安庁海洋情報部蔵(海軍模写)



毛利大図(第175号山口県文書館蔵)



大図（吉岐）
松浦史料博物館蔵



伊能大図第111号(アメリカ議会図書館蔵)



大図100号富士山(国会図書館蔵)



その後の伊能図

没後の顕彰等

- 1814 葛西昌丕が唐丹村に測量之碑を建立
- 1883 伊能忠敬に正四位の贈位
- 1889 東京地学協会が「贈正四位伊能忠敬先生測地遺功表」を建立
- 1917 大谷亮吉『伊能忠敬』
- 1966 測地遺功表を再建
- 2000 伊能測量200年記念行事
- 2010 伊能忠敬関係資料国宝指定

佐野常民の東京地学協会における講演

- 明治15年(1882)9月元老院議長佐野常民が東京地学協会で講演し、贈位を提案
- 明治16年2月27日贈正四位
- 明治22年「伊能忠敬先生測地遺功表」建立

長岡半太郎の東京地学協会における 講演

- 1909年(明治42年)東京帝国大学卒業式 忠敬の遺品・遺書を天覧に供す
- 1914年(大正3年) 東京地学協会総会で講演
- 大谷亮吉「伊能忠敬」(1917)の監修

その後の伊能図

- 幕府提出後は秘図になった
- シーボルト事件(文政11(1828)年)
- イギリス測量艦に伊能小図を譲渡
- 官板実測日本地図(1867)
- 皇居火事(1873)により「大日本沿海輿地全図」が焼失
- 明治政府が国家の地図・海図を作成するために利用

陸軍→アメリカ議会図書館・歴史民俗博物館
海軍→海上保安庁海洋情報部
内務省→気象庁→国立国会図書館

- 関東大震災(大正12(1923)年)、伊能家控図焼失
- 昭和4年まで国家の地図に利用

師弟の墓(浅草源空寺)





葛西昌丕
測量之碑
文化11年(1814)



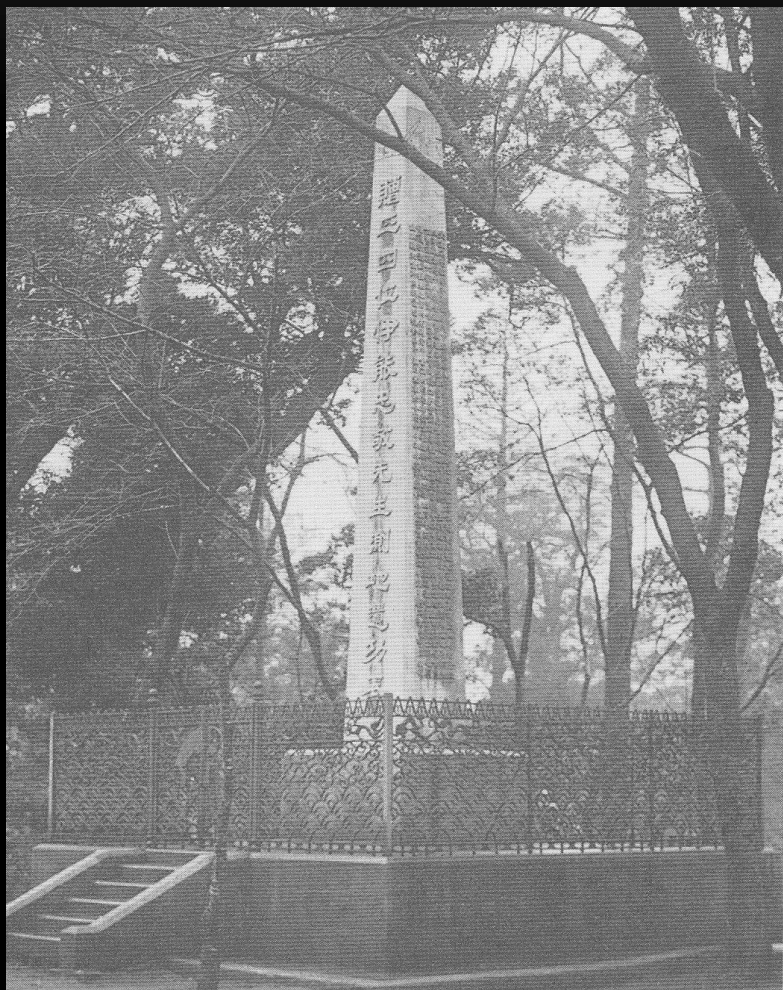


測量之碑

1 km

N 39

伊能忠敬測地遺功表(芝公園)



明治22年建立



昭和41年建立

伊能忠敬銅像



富岡八幡宮



九十九里生家跡



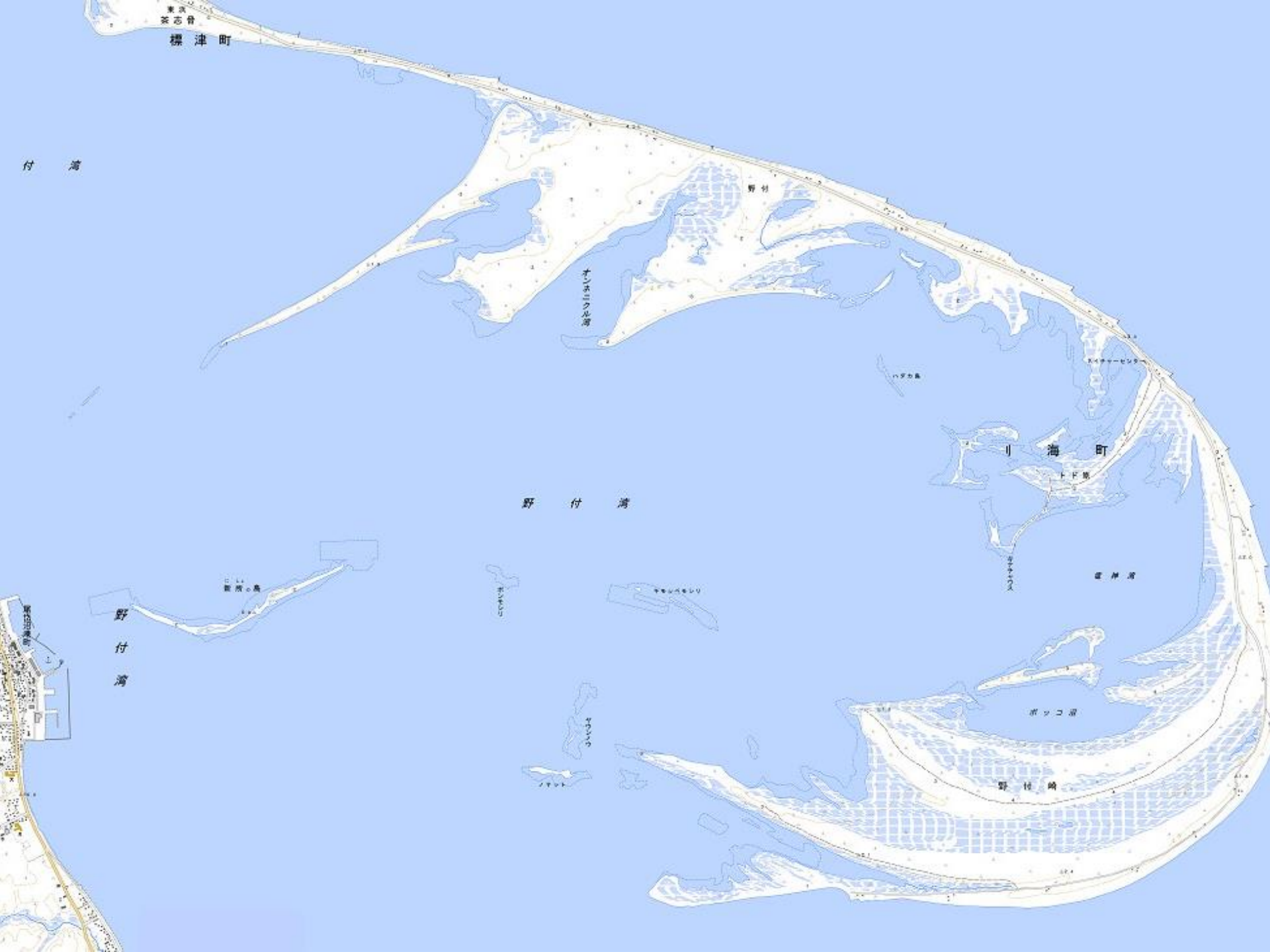
佐原諏訪公園

伊能測量成功の原動力

- 学問への傾倒＝佐原時代の勉学
- 経済力＝前半生の成功
- 測量家としての適性＝謹厳実直・忍耐力
- 豊富な人脈＝師・弟子・桑原隆朝・文化人
- 幕府の支援＝高橋至時・景保、堀田摂津守
- 各藩の協力＝西日本諸藩

伊能図に見られる国土の変遷





標津町

付 湾

野付

オシホニシロ島

ハダカ島

トド島

野付湾

新洲の島

野付湾

ボッコ島

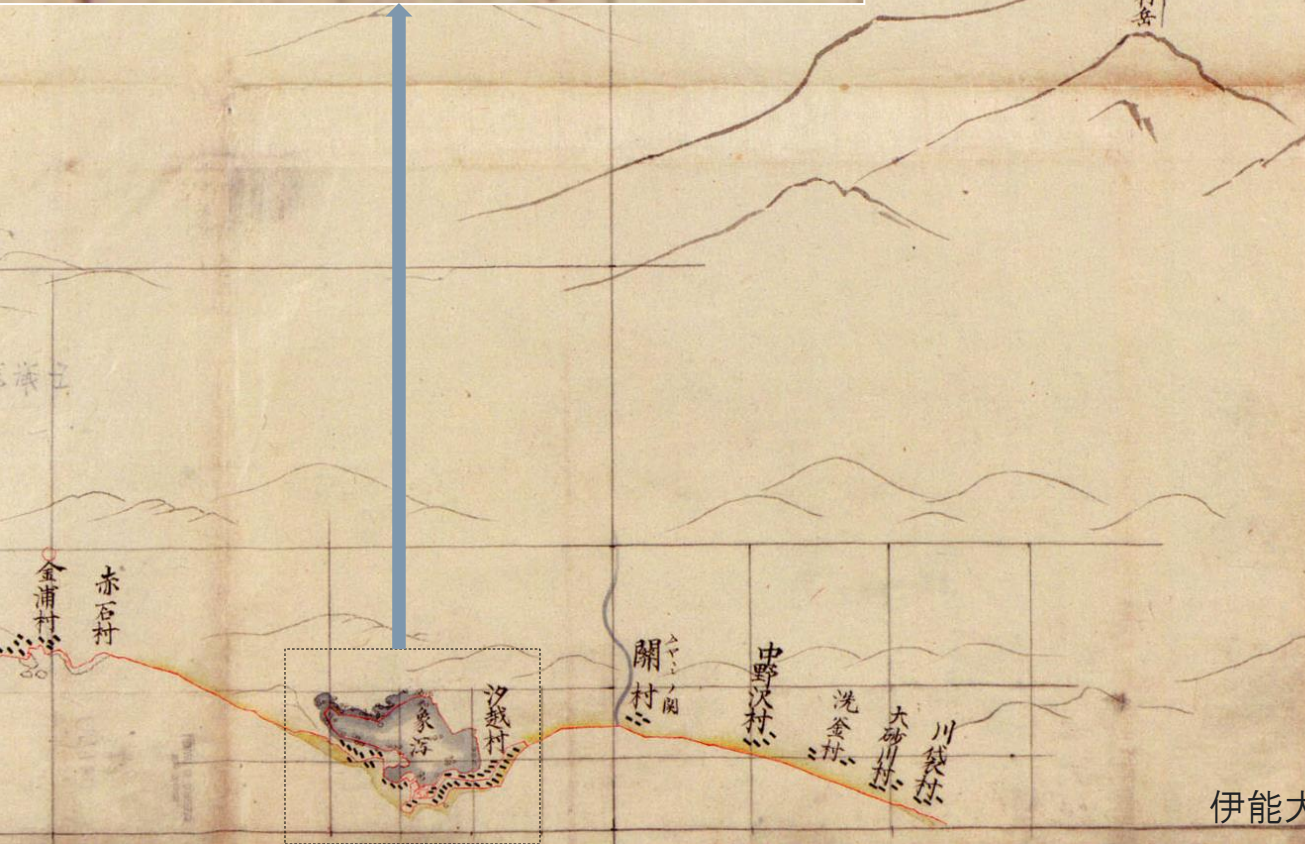
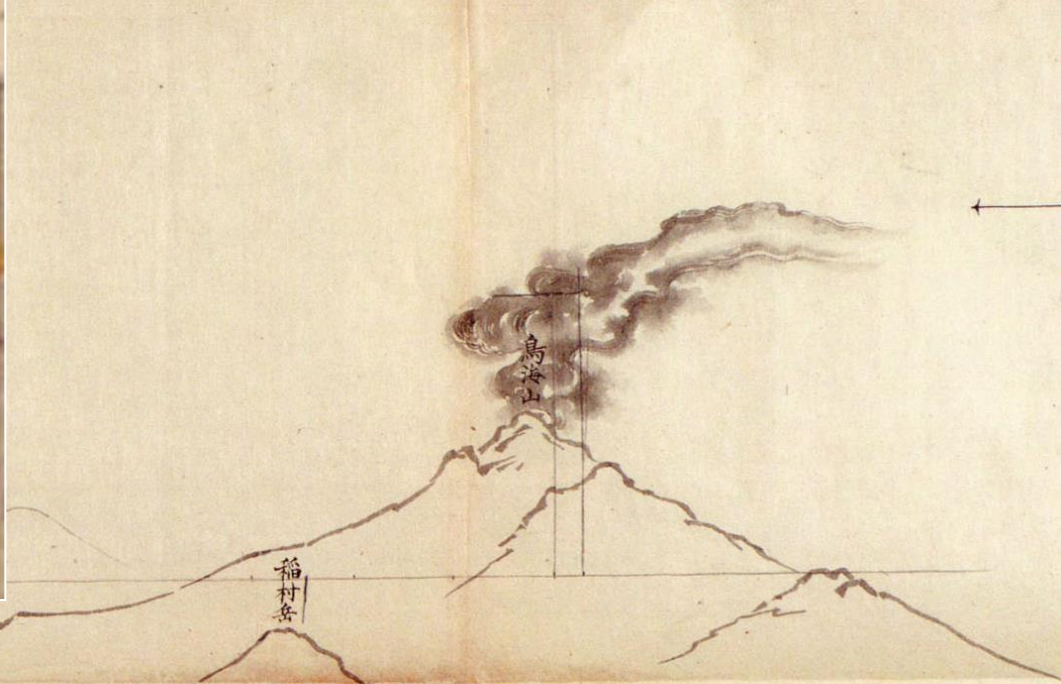
野付崎

野付崎

野付崎

野付崎





伊能大図第64号(アメリカ議会図書館蔵)









知行所
森村
公田村

保

久樹良樹郡

新五村

石合崎
義子村

戸邊村
御料所

三塔川
堂町

瀧邊
南知行所

好渡村
知行所

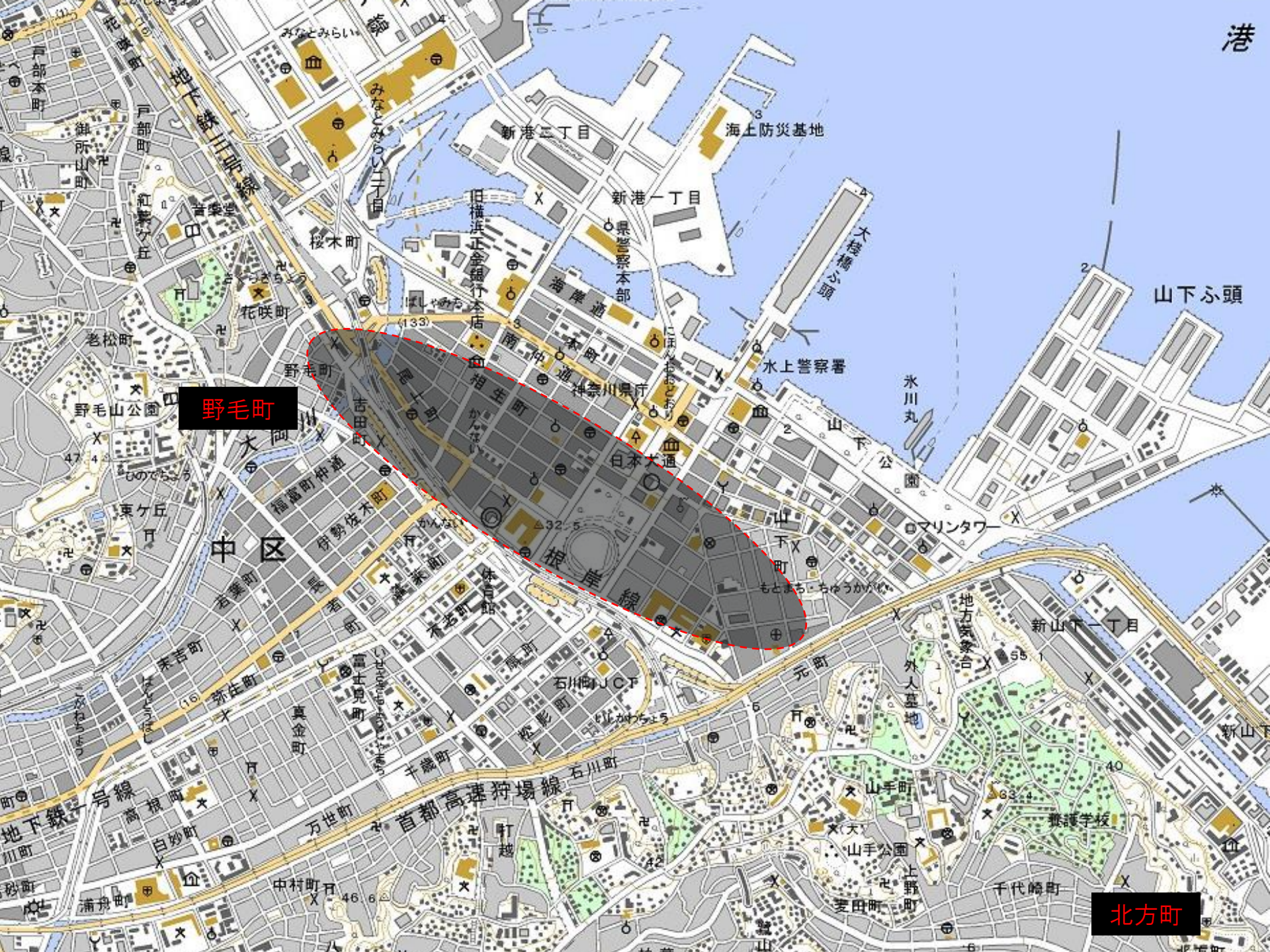
大久保大福寺
藤木三計
松浦市本郎
知行所

倉橋内
知行所

北方村

水牧本御村

港



野毛町

北方町

中区

新港二丁目

海上防災基地

新港一丁目

県警察本部

旧横浜正金銀行本店

桜木町

花咲町

老松町

野毛山公園

吉田町

神奈川県庁

日本大通

水上警察署

山下ふ頭

氷川丸

マリントワー

大岡町

福富町仲通

根岸線

山下町

新山下二丁目

赤坂町

伊勢佐木町

石川JCT

元町

地方家合

新山下

赤坂町

富士見町

石川町

山手町

外人墓地

新山下

赤坂町

真金町

千歳町

山手公園

上野町

千代崎町

赤坂町

中村町

打越

芝田町

上野町

千代崎町

赤坂町

浦島町

中村町

芝田町

上野町

千代崎町

赤坂町

浦島町

中村町

芝田町

上野町

千代崎町

赤坂町

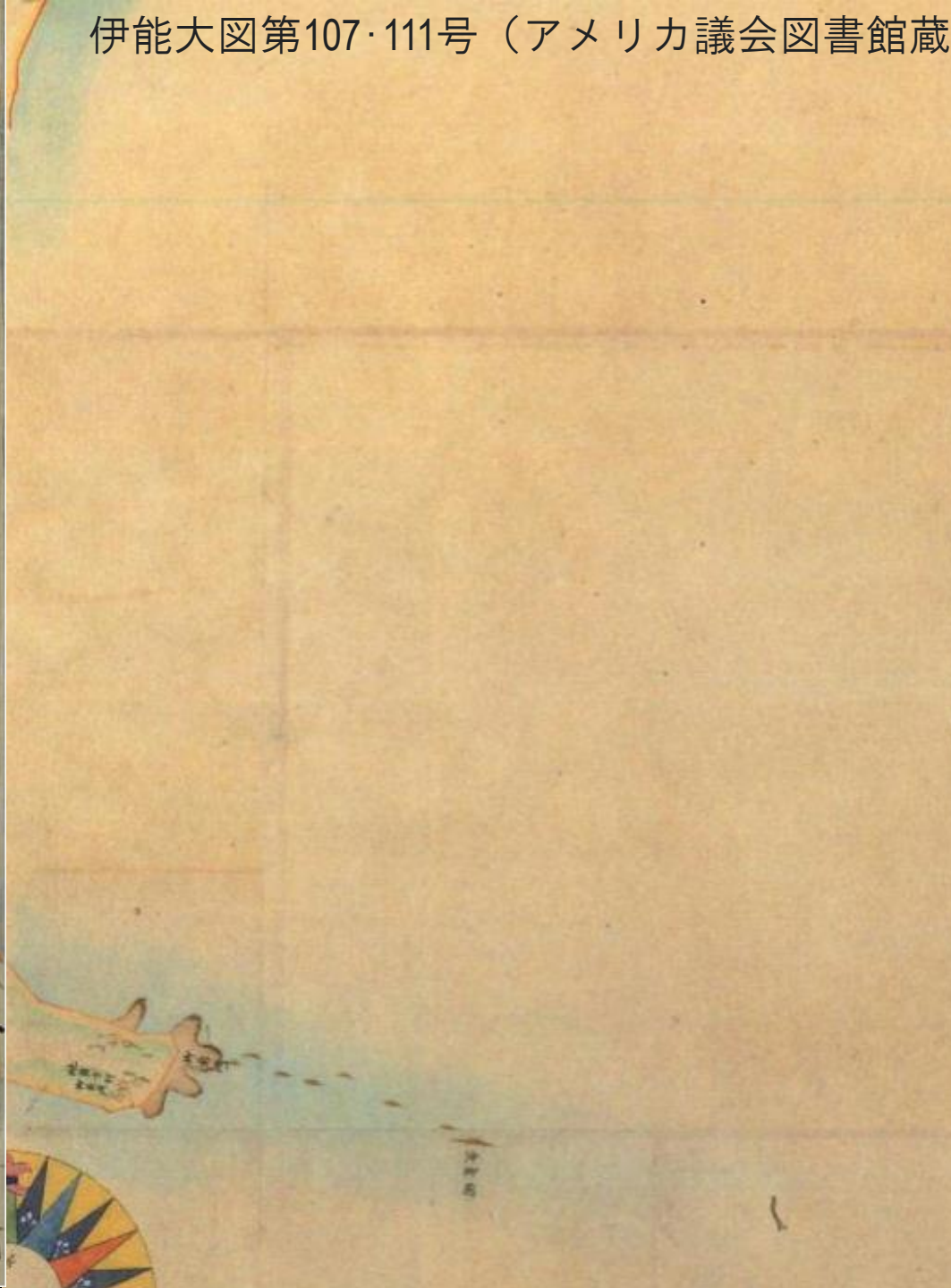
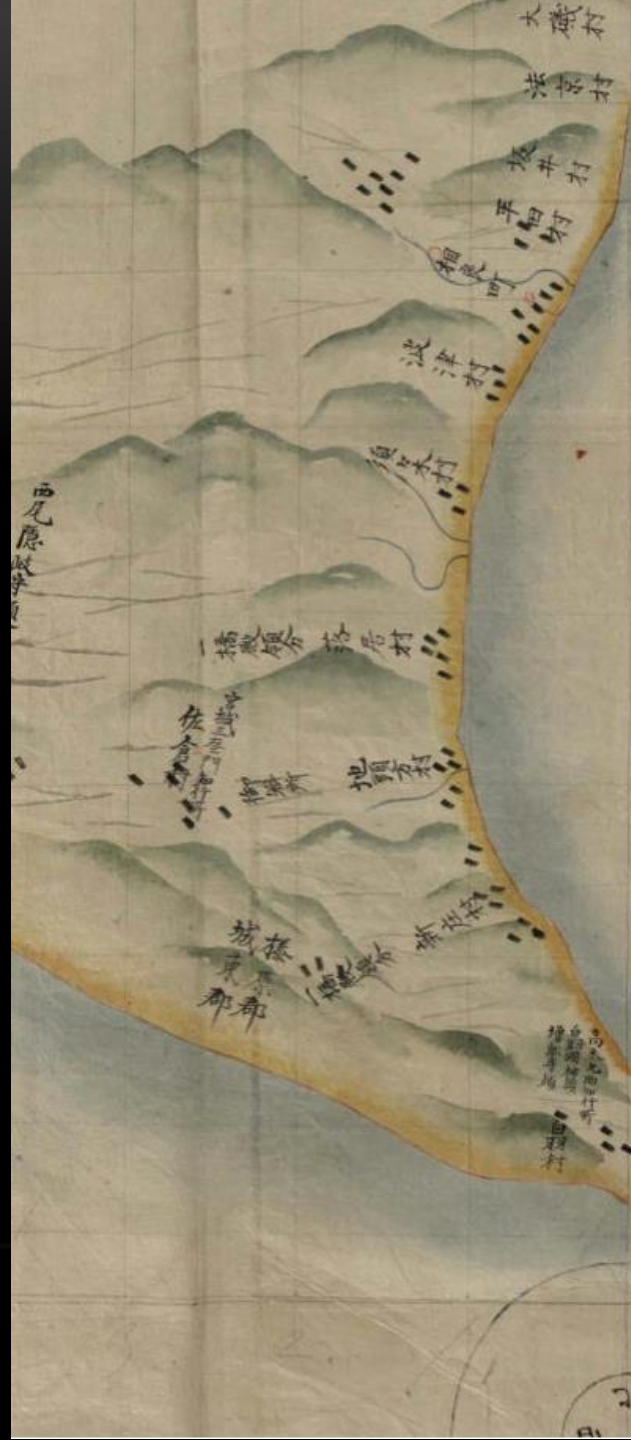
浦島町

中村町

芝田町

上野町

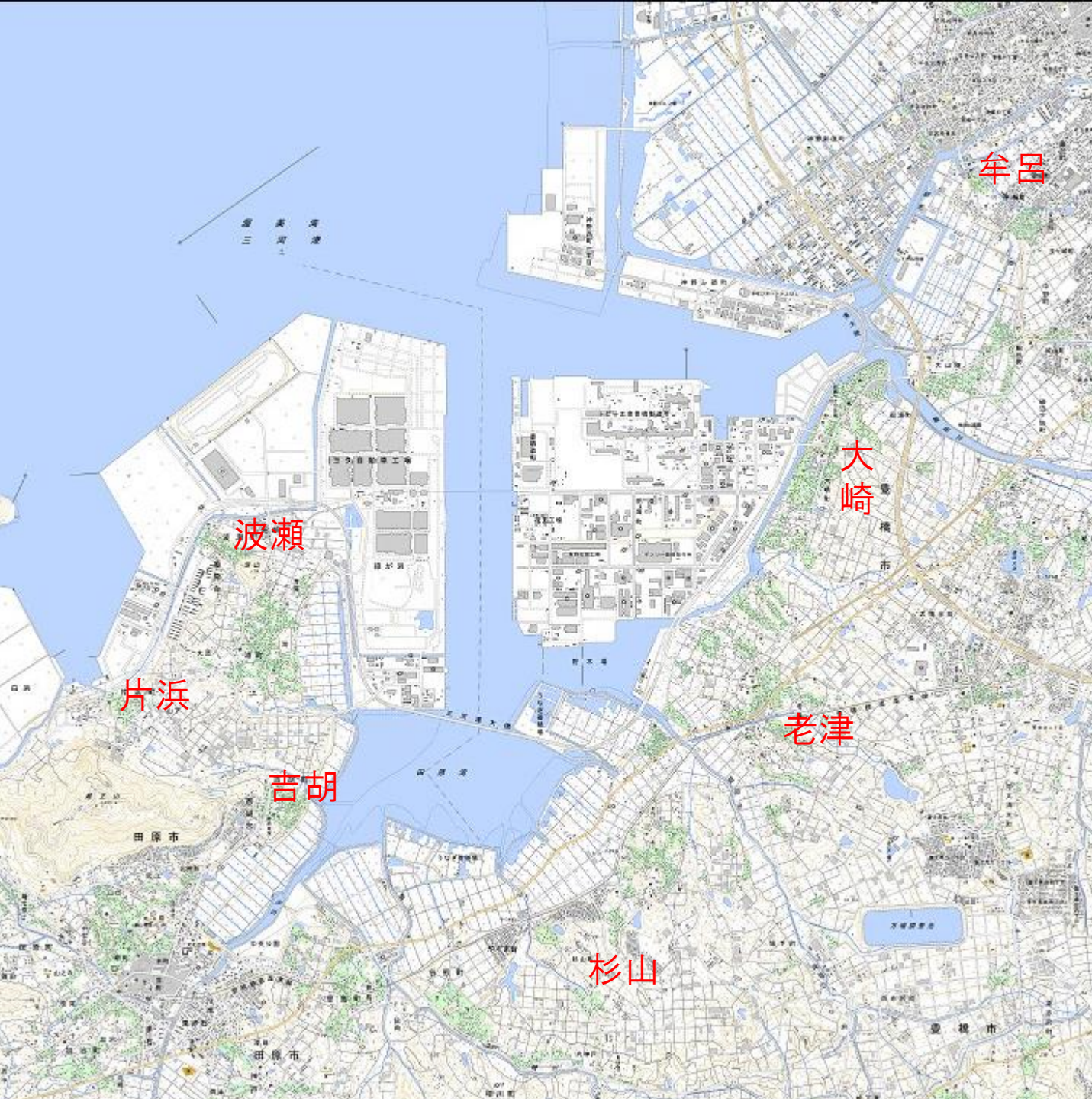
千代崎町







明治23年測図2万分1地形図



牟呂

大崎

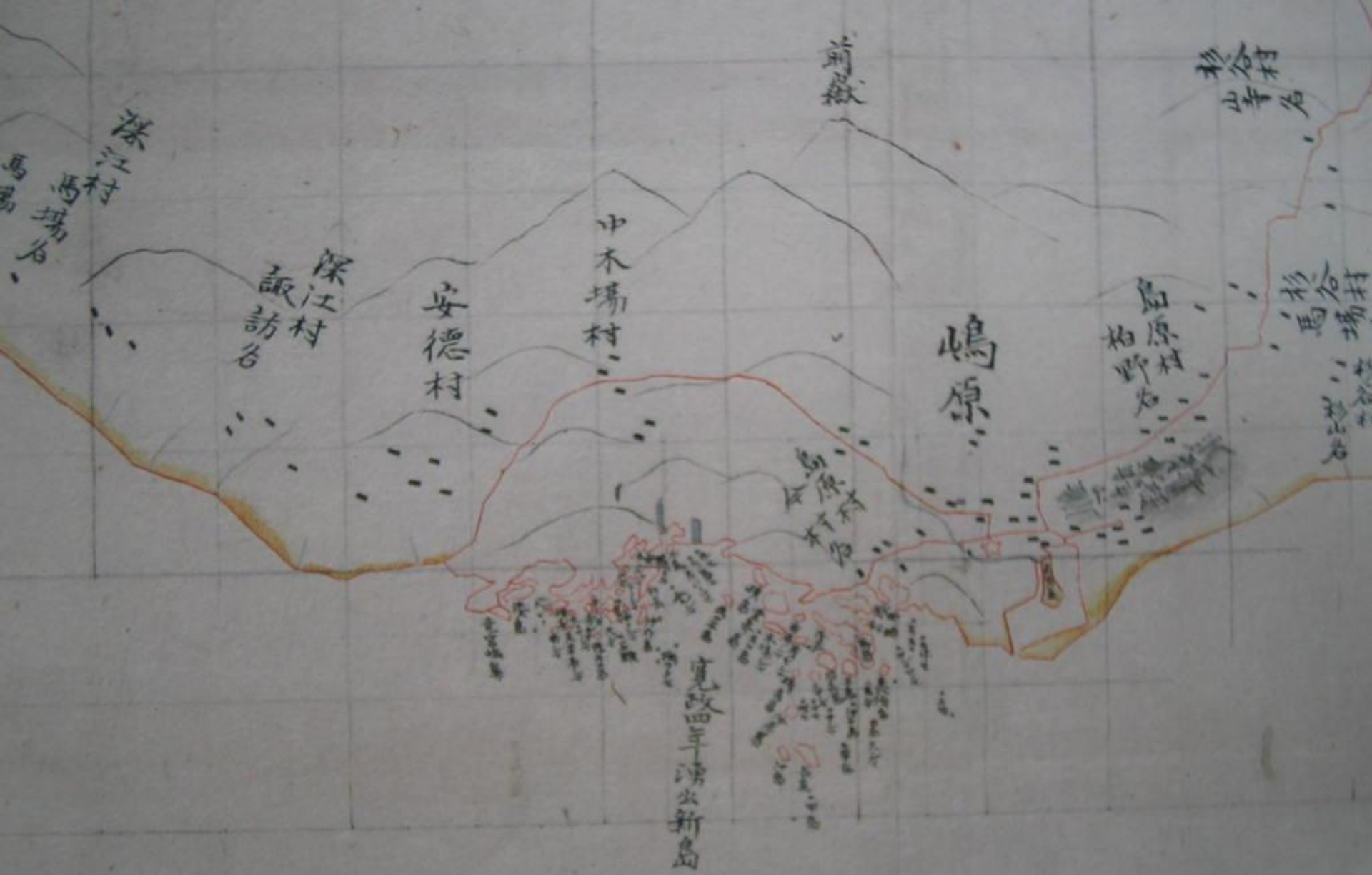
老津

波瀨

吉胡

片浜

杉山





島原港

九十九島

島原市

秩父が浦公園

白谷町

大下町

梅園町

北安徳町

船泊町

新築二丁目

親和町

新築一丁目

新山四丁目

南下川尻町

下山尻町

新山一丁目

築町

島原二丁目

島原三丁目

島原一丁目

島原二丁目

島原三丁目

音美町

小山町

城見町

本光寺町

六ツ木町

柿の木町

相野町

田町

新田町

新田町

新田町

新田町

天神元町

社元町

門内町

南蒲山町

秩父が浦町

船泊町

仁田町

大下町

梅園町

北安徳町

船泊町

船泊町

新築二丁目

親和町

新築一丁目

下山尻町

下山尻町

下山尻町

新山四丁目

南下川尻町

下山尻町

下山尻町

下山尻町

下山尻町

新山一丁目

築町

島原二丁目

島原三丁目

島原四丁目

島原五丁目

島原三丁目

島原二丁目

島原一丁目

島原二丁目

島原三丁目

島原四丁目

音美町

小山町

城見町

本光寺町

六ツ木町

六ツ木町

柿の木町

相野町

田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町

新田町